

大分県立
芸術文化
短期大学

OITA
PREFECTURAL
COLLEGE OF
ARTS
AND CULTURE

大学広報誌 エピストゥラ

Epistula

spring
2014



特集

美術・音楽・国際・情コミュ
全4学科が行った1年間の活動を
お知らせします!

【表紙モデル】美術科デザイン専攻ビジュアルデザインコース2年：宮本珠美さん、盛満まいかさん

vol. 34

「ファンデーキンマンション」にて
作品展を開催しました

アーティストたちの新たな活動拠点の場として
注目されている「ワンドーキャンマソショ」にて

術



アート・デザイン系情報誌
「ヒューマン」、専攻科で創刊！

科で創刊！

「森山楓個展」専攻科1年 森山楓
私はこれまで、作品を人に見せることを避け、自分
の部屋に閉じこもって制作をしていましたが、今回
は、1階に水彩やクロヨン画、2階に段ボール
画を展示。期間中は、壁に絵を描く公開制作も行
いました。

の作品展に来場して下さったたくさんの方々と話をすることで、人に見せることは想像していたほど怖くないと感じました。開かれた場所で展示をすることで何を伝えたいのか、誰に見て欲しいのかが明確になった気かします。今回の展示を機に、制作に対する姿勢も大きく変わり、次の段階へ進むに繋がりました。

【視界 -worlds apart-】

美術科2年 原田知舎

廊下での展示は初めてでした。廊下という場所の利点は、他の作品展を見に来た方でも、帰りにちらりと観てくださることです。そこで新たな対話が生まれ、「とても有意義

「106」専攻科1年 田中愛理
自身の制作テーマである「人が残す痕跡」をモチーフに制作したインスタレーション作品を展示。メソネットタイプの仕組みを利用し、1階にこれまで制作した平面作品やポートフォリオを展示して自身の紹介を行い、2階に新作のインスタレーション作品の展示や移住・交流する場を設けました。会期中には、中学生とのセッションイベントなども行いました。

美大生やデザイナーの展示がマンション内で複数あつたこともあり、県内外から多くの人々が防れ、意見などを聞くことができました。サイトスペシフィックな作品を作れたがというと課題は山積みですが、学生のうちに場所を意識してその場で制作することを心がけています。

系統的に学ぶことによる
ものが「理論に裏付けられ
彩の実践的活用能力」を確
つけることを目的としたもの
です。合格者は、認定審査
定カードが与えられます。
(2014年は実施未定)

色彩検定試験に合格しました

関する知識や技能」を理論的、系統的に学ぶことにより、誰もが「理論に裏付けられた色彩の実践的活用能力」を身につけることを目的としたものです。合格者には、認定書と認定カードが与えられます。
(2014年は実施未定)



学科

新学科誕生で 新たなスタート

平成25年、20年間の歴史をもつ国際文化学科は、更なる教育内容の拡充と発展を目指し、国際総合学科へと生まれ変わりました。国際的視野とコミュニケーション能力の養成を目指す「国際ミニユニークーション」、観光業を中心に地域社会で活躍する人材を育成する「観光マネジメント」即戦力としての企画力を身につける「現代キャリア」の3コースを設置。新学科設立とともに、韓国研究の朴貞蘭専任講師、観光学の宮野幸岳専任講師、経営学の植村修教授が着任しました。また、本学が交流協定を結んでいる中国・江漢大学日本語学科の常梅先生が一年間専任講師として教壇に立ちました。



海外語学実習で 大きく成長！

国際総合学科(文化学科)では、休暇を利用して多くの学生が語学実習に参加しています。今年度も「イギリス・エセックス大学」「カリフォルニア大学」「韓国・高麗大学」「中国・江漢大学」に多くの学生が短期留学をしました。現地で実際に生活しながら、生きたコミュニケーション能力を身につけることができます。また、アメリカ実習中には、サーバースタッフとして貧しい人々に食事や宿泊場所を提供する施設でのボランティア活動も体験できます。



国際総合

大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



「PBL型インターンシップ 公開プレゼン」で留学生が 発表を行いました

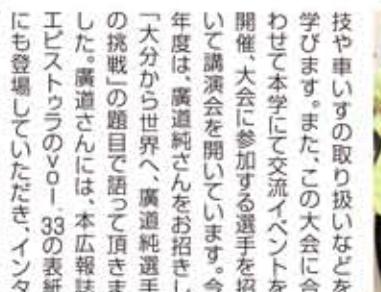
ホルトホールで開催された「PBL型インターンシップ留学生による公開プレゼン」で、中国・江漢大学から本学に留学している石美(セキビ)さんと周雅晶(シユガショウ)さんが発表を行いました。「PBL型インターンシップ」とは、企業から出された課題に対し、学生が研究をして解決策を提案するもので、石美さんは「中国スイーツのお店を開拓する戦略」についてお話を展開する戦略でした。



留学生&常梅先生の お別れ会を行いました



卒業研究発表会を 実施しました

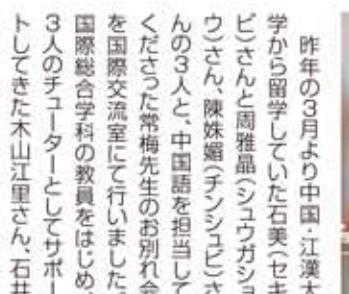


国際色あふれるイベントを実施

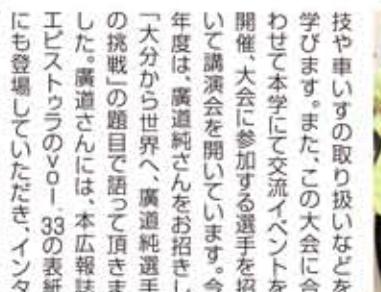


Cover of Epistula vol.33

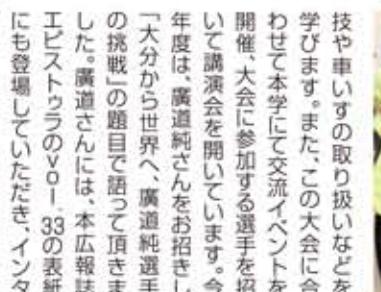
芸短フェス期間中にさまざまなイベントを実施しました。ヨーロッパ各国の歴史や文化、現在の姿を映像や音楽を交えながら楽しく学ぶ「ヨーロッパ講座」や、「子きつねヘレンがこしたもの」著者である歴史家・竹田津実氏を招き、「命の大切さ」について考えた「動物の命を考えるシンポジウム」、東西の都市を結んでいた交易路について考えた「動物の命を考えるシンポジウム」、東



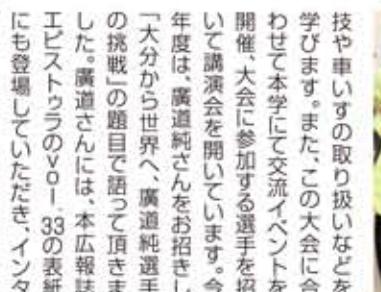
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



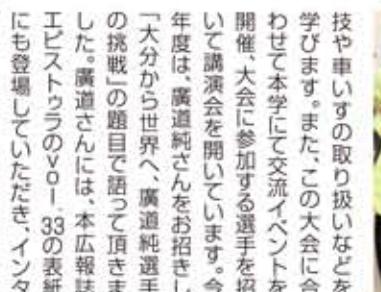
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



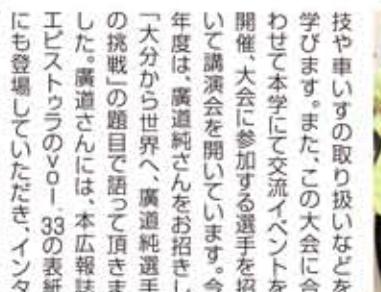
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



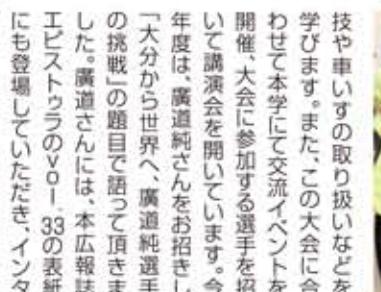
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



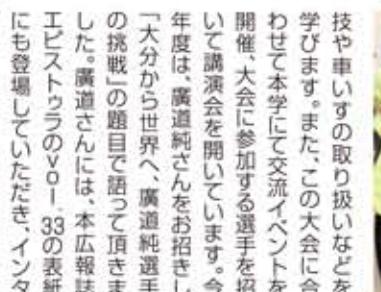
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



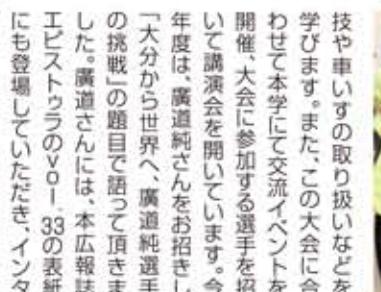
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



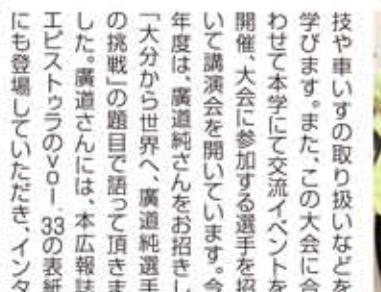
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



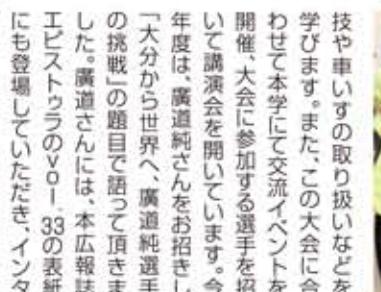
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



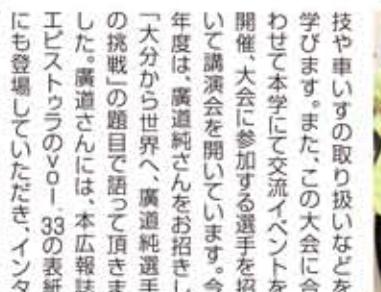
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



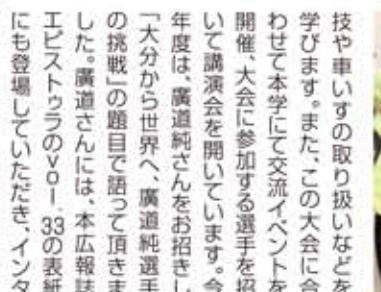
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



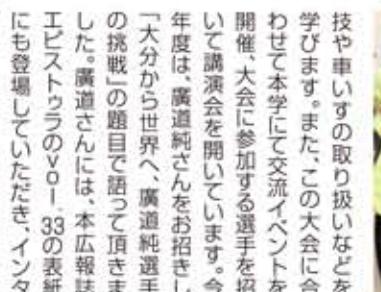
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



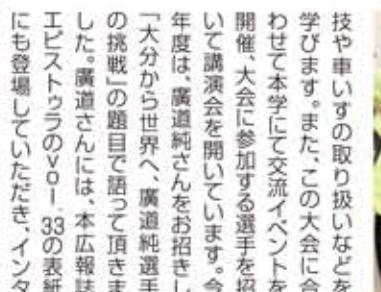
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



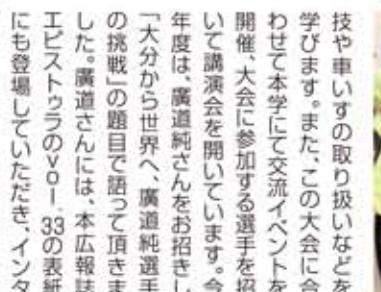
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



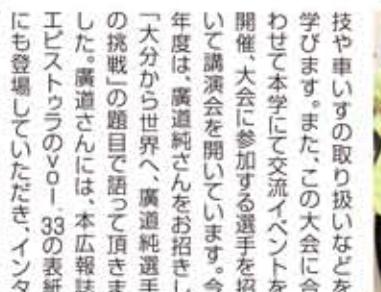
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



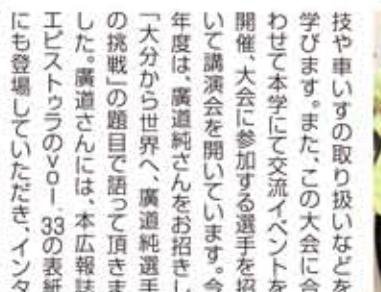
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



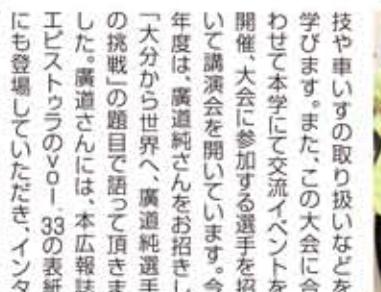
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



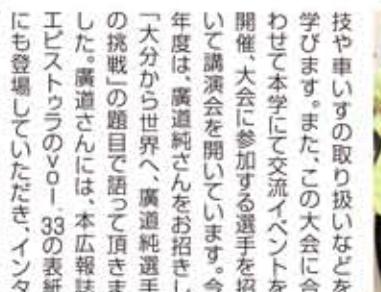
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



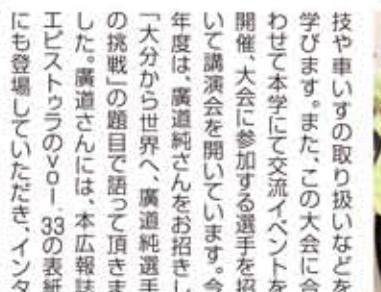
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



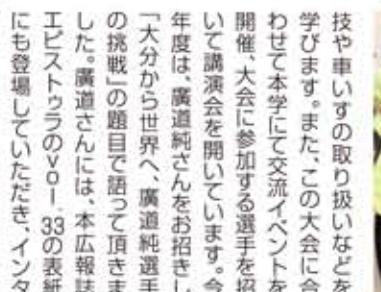
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



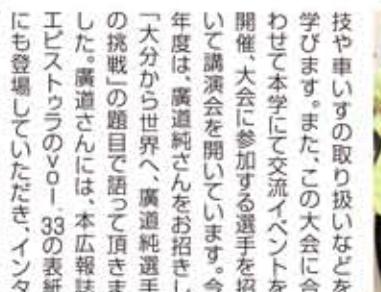
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



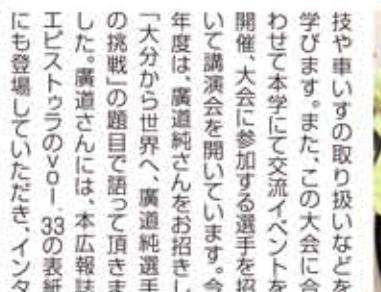
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



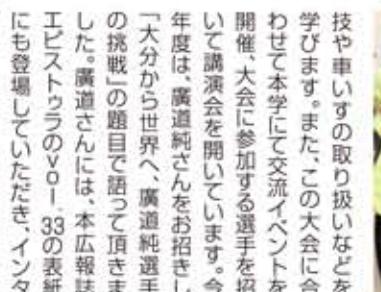
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



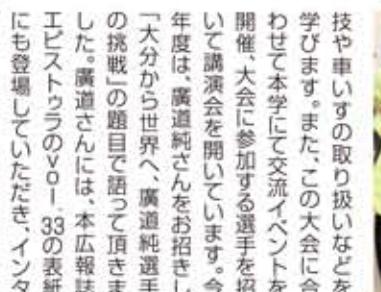
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



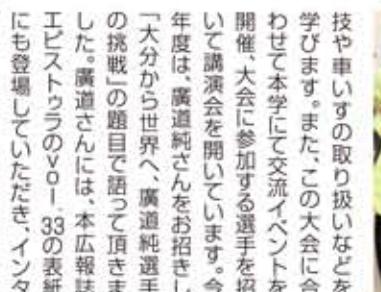
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



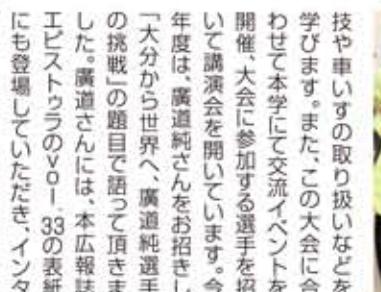
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



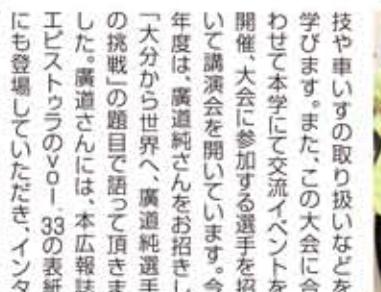
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



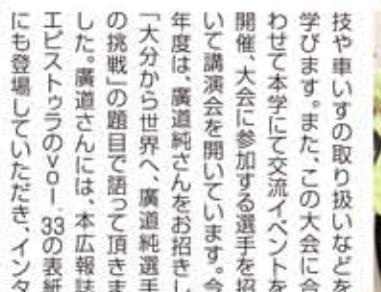
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



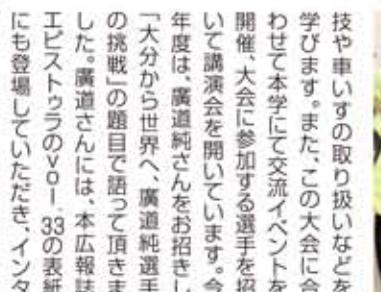
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



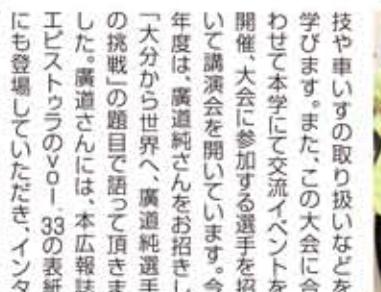
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



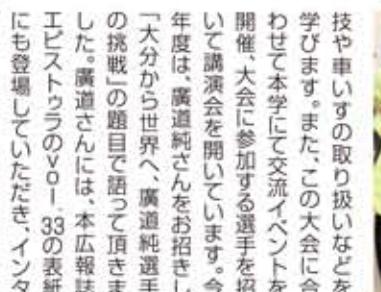
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



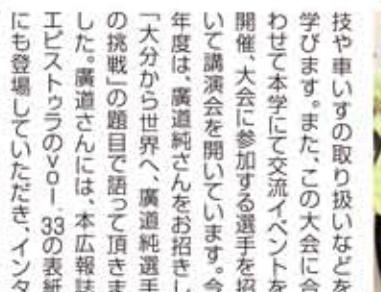
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



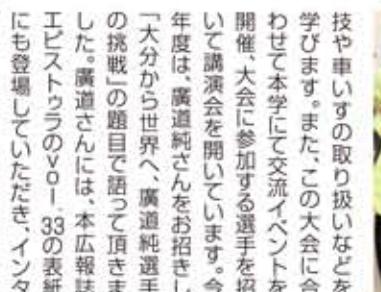
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



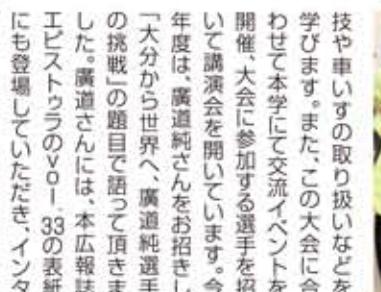
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



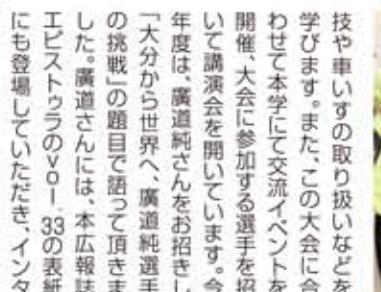
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



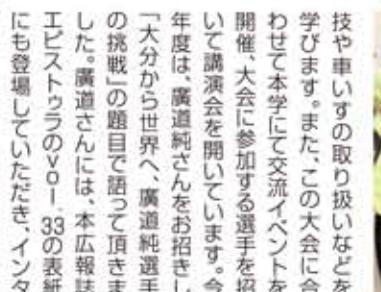
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



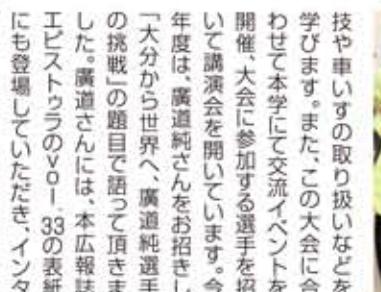
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



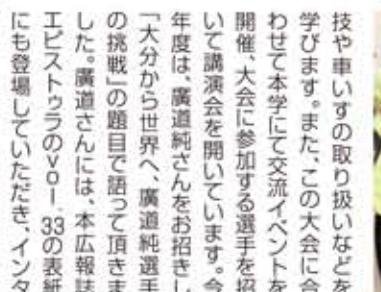
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



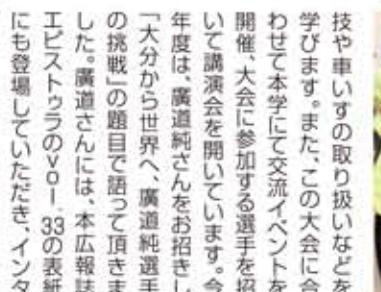
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



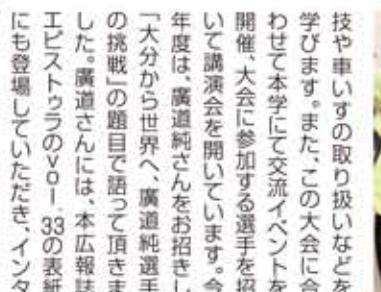
大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



大分国際車いすマラソン大会に 参加しています！



<

8月4日、九州を横断するJR豊肥本線のうち、豊後竹田～宮地間が復旧し、その運転再開イベントに36名の学生が参加しました。豊後竹田駅に到着した後、竹田の若者や移住計画のご夫婦との交流会を行いました。

後、竹田のまちなかの取材を実施、情報発信を行いました。学生の一部は農家民宿を行い、竹田の若者や移住計画のご夫婦との交流会を行いました。



「第3回 日韓学生短編映画制作交流」を行いました



8月初旬、「日韓学生短編映画制作交流」を行いました。これは、本学とソウル芸術大学映画学科による合同プロジェクトで、スマートフォンやデジタル一眼レフを使用して映画を制作するというものです。本学の作品タイトルは「スイートビート」。結婚を決めた女性が、5年前に亡くなった元彼に夢の中でもう一度会うという内容で、セリフは韓国語で撮影されました。この作品は、韓国で開催された「常綠樹国際短編映画祭」で特別賞を受賞しました。

大分県の商店街を魅力的にし、集客率アップを狙ったプランを募集した「街なかにぎわいプラン公開プレゼンテーション」で、TV局（U-S-TREAM配信）を開局し、地域で活躍している人物やイベント紹介、映像祭を実施する。といった内容を発表した「学生と商店街の「ラボ放送局 大分まちなかTV」が優秀賞を受賞、「大分まちなかTV」の開局を実現しました。開局に先立ち、情コミニ20年の立山奈々子さんと酒井優菜さんによる記者会見も行われました。



赤い羽根ボールペン広報活動を行いました



共同募金会が新たな募金手法として取り組んでいる寄付金付き商品で、ボールペンのデザインを美術科の学生が担当、「情コ学生が販促活動を行いました。P.O.P.用にポップや巨大ボールペンを制作、学内でのイベント時や授業後の時間を利用して学生たちに購入を呼びかけ、facebookで活動報告の情報発信を行いました。この活動が功を奏し、173本を売り上げ、募金に大きく貢献しました。

凍田教授退職記念シンポジウムと最終講義を行いました

人文系設立時より22年間、情報コミュニケーション学科を中心に戦略的教鞭をとられた凍田和美教授の退職記念シンポジウムと最終講義を行いました。最終講義には、実習助手O.G.や卒業生たち多く集まり、凍田教授から頂いた言葉、想い出などを語りました。みなさん「凍田先生と出会わなければ今の私はいなかつた」と口をそろえておっしゃっており、凍田教授の偉大さを感じました。



「きっかけバス47」街頭募金を行いました

47都道府県、2000人の学生を、東北に！ 東北に元気を！ たくさんの笑顔を！ という熱い思いで学生が立ち上げた国民運動「きっかけバス47」。東日本大震災をいつまでも風化させず、被災地の人たちを東北へ連れて行く目的としています。この活動に賛同した学生たちが立ちあがり、街頭で2日間の募金活動を行いました。



地域貢献活動を行いました

情報コミュニケーション研究員の協力で



情報コミュニケーションでは、2012年度から地域貢献研究会を立ち上げ、研究員の方々の協力を得て、地域活動を推進する取り組みを行っています。今年度は●フェイスブック・インティング●豊後竹田●マレーシア短期留学●下関市立大学を訪問●自分戦略デザイン大学●簿記自主勉強会●地撮り大分竹田●立命館アジア太平洋大学訪問を実施しました。来年度からは、「仕事力養成特講」、「簿記」のサポート体制など、新規の講義も予定しています。

Cover of Epistula vol.32

本広報誌エピストラは、各学科の「頑張っている学生」が表紙を飾りました。情報コミュニケーション学科からは、就活の傍ら、資格取得やサークル活動に全力投球する堤友香さん、倉重仁美さん、古田葉月さん、姫野真未さんに登場してもらいました。狩谷ゼミで「マトリックス」のような映像を撮影する。というユニークな授業時にお邪魔した表紙撮影は、とても暖かに行われました。



GEITAN

NEWS!

「第6回県政ふれあいトーク」を開催しました

11月12日、広瀬勝貢大分県知事が来学され「第6回県政ふれあいトーク」を開催しました。広瀬知事と本学教員が芸文短大のカリキュラムや取り組みについて意見交換を行ったほか、大講義室にて「芸術文化短期大学生に期待すること」をテーマにお話しをして頂きました。また、各学科から代表の学生が出席し、自分たちが学んでいることや努力していること、留学先でのエピソードなどを語りました。夢が実現した学生、夢に向かって頑張っている学生、参加した学生それぞれが異なる分野の中で、みなイキイキと充実したキャンパスライフを送っており、そんな学生たちに知事も興味深くいろいろ質問されていました。学生たちは知事との一对の対談に緊張した様子でしたが、貴重な経験となりました。

12月3日、釘宮磐大分市長による講演「大分市長から次世代を担う若者へのメッセージ」を開催しました。中心市街地のまちづくりとして、シンボルロード「おおいたこいの道」や南口駅前広場整備・JR大分駅ビル・北口駅前広場など、今後の計画について話されたほか、アントレフーナー事業(職員の提案はじめた事業)として、自転車の似合うまちおおいた、森林セラピー事業、トイレアートのトレンナーレ事業についてふれられました。自転車の事業や森林セラピーは、本学サービスラーニングの授業でも参加をしています。意見交換会では、大分市の防災・減災事業について、別府市との連携、駅裏の南北軸の人についての質問があり、活発な討論が行われました。

12月19日、本学学長室にて「名誉教授称号授与式」を執り行いました。名誉教授の称号は、本学を退職し、教育上、研究上、大学運営上及び地域貢献上、特に功績のあった方に与えられます。本学ではこれまで、31名の方々へこの称号を授与。今回は、昨年度退職された美術科久保木真人教授、音楽学科染矢正一教授へ授与しました。中山欽吾学長は「これからも、地域貢献などさまざまな形で本学と関わり個性あふれるユニークな活動をしていただきたいと思います。また、現役の先生たちのOBとしてもアドバイスをお願いします。本日はおめでとうございます」と述べました。

“習い事”なにか始めませんか!

【芸短オーブンカレッジ】を開講します! ～平成26年度前期講座～

本学では、社会全体の学習ニーズの高まりに応え、地域社会に幅広い生涯学習の機会を提供することを目的とした「芸短オーブンカレッジ」を開講しています。今年度も、絵画や語学、パソコン、映像など芸術系と人文系が一つになった本学ならではの個性的な講座を多数、ご用意しています。詳しくは、本学HP、または「芸短オーブンカレッジ担当」までお問い合わせください。



情報をいち早くGet!

大分県立芸術文化短期大学の公式facebookをはじめ、各学科やサークルがfacebookを立ち上げています。イベントや公開講座、キャンパス内の様子など情報満載です。



※派遣期間満了により、中国の江漢大学へ帰学されました。

釘宮磐大分市長による 講演を開催しました

「名誉教授称号授与式」を 執り行いました

恩師からの お別れの言葉

今年度で退職される先生方に
お言葉をいただきました。



国際総合学科

専任講師：常 梅

一年間の芸文短大生活は、あっという間に過ぎてしまいました。短い間でしたが、まわりの先生と職員のみなさんに励まされ、学生さんたちに助けられ、とても充実で、有意義な一年間を過ごすことができました。至らない私が大過なく過ごすことができたのは、そんなみなさんの支えがあったからだと思います。大変お世話になりました。この一年間は、一生の想い出になります。ありがとうございました。これからもずっと、芸文短大の輝かしい未来を応援します。



情報コミュニケーション学科

教授：凍田 和美

22年間、本学の情報化とネットワーク化の仕事(日々の授業も含んで)を中心に行ってきました。現在では、研究化された技術はすぐに世の中に出でるので、その技術を十分に理解する間もなく、多くの人たちがそれを使い始めています。17~8年前からこれまでずっと、便利さだけでなく、「安心安全」に重点を置いた「情報モラル」の研究活動を進めてきました。まだ、やり残した仕事もあるので、学内をうろうろすることができます。みなさん見かけたらぜひ、声をかけてください。どうぞよろしく！



美術科

教授：澤田 佳孝

昭和48年4月、当別府市にあった本学に24歳で赴任してから、瞬く間に41年の歳月が流れました。在任中には、さまざまな出来事がありました。それらの年月を振り返り、現在の私の心に浮かんでくるのは、平家物語の中の平知盛のことば「見るべき程の事をば見つ」という言葉です。また自分なりに一生懸命生きてきた自分自身を褒めてやりたいという思いです。今後は、私の理想であり、そのため準備してきた、静かな晴耕雨読の生活が実現できるように、日々努力を重ねてくつもりです。